

学校関係者評価報告書

2025 年度

学校法人 村川学園

大阪健康ほいく専門学校



【目次】

1. 目的
2. 2025年度学校関係者評価委員会開催概要
3. 学校関係者評価委員による自己点検・評価の重点評価項目への提言

1. 目的

学校関係者評価委員会（以下、当委員会）は、大阪健康ほいく専門学校 学校関係者評価委員会規程に基づき、大阪健康ほいく専門学校（以下、本校）の自己点検・評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関として当委員会を組織した。当委員会は、本校の自己点検・評価を資料として、自己点検・評価委員会の内部評価を参考にし、さらに関係教職員との具体的な意見交換等を通して、本校の学校運営・教育活動について検証・評価及び助言を行うことを目的として実施している。当委員会委員は本校の教育理念を理解し、人材育成等に精通した学外の関係者の中から校長が選考し、委嘱している。

2. 2025年度学校関係者評価委員会開催概要

第1回

① 開催日時

ハイブリッド開催

2025年7月31日(木)

(分科会) 10:00～11:00 (全大会) 12:00～15:00

② 場所

大阪健康ほいく専門学校 3階会議室、オンラインにて実施

③ 出席者（敬称略）

田村 大介（泉大津市 市長公室 地域経済課 総括主査）

野田 豊美（大阪府立貝塚高等学校）

笹田 智（卒業生）

樽本 敦史（社会福祉法人 この家 施設長）

三浦 祐助（社会福祉法人 泉州三和会 幼保連携型認定こども園 信太保育園 園長）

宮崎 敦大（卒業生）

高橋 久美子（・卒業生 保護者）

第2回

① 開催日時

ハイブリッド開催

2026年3月16日(月)

(分科会) 10:00~11:00 (全大会) 12:00~15:00

② 場所

大阪健康ほいく専門学校 3階会議室

③ 出席者 (敬称略)

田村 大介 (泉大津市 市長公室 地域経済課 総括主査)

川邑 千佳 (大阪調理製菓専門学校 学生保護者)

野田 豊美 (大阪府立貝塚高等学校)

笹田 智 (卒業生)

樽本 敦史 (社会福祉法人 この家 施設長)

三浦 祐助 (社会福祉法人 泉州三和会 幼保連携型認定こども園 信太保育園 園長)

宮崎 敦大 (卒業生)

3. 学校関係者評価委員による自己点検・評価の重点評価項目への提言

(1) 教育理念・目的・育成人材像等

中 項 目	小 項 目	評価
理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像は、定められているか。	4
	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか。	4
	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。	4
	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	4

【現状の課題点】

特に課題はないが、3つの方針に基づいた学校教育の透明化を図り、産官学が連携をしていくことが必須であると考えます。

【学校関係者評価委員からの提言】

・学園三訓は社会に出て当然のことであり、この思いをもって日々過ごしていく中で得られることが大きい。

人間関係においても然り、住んでいる世界においても大切なことを非常に端的に表現して

いると思っている。

高校生等が卒業してすぐにこれらを唱和した際に、規律・マナーなど、いま改めて必要とされていると思う。先生方ひとりひとりが説明して伝えていくことが重要と思われる。感覚的にとらえるのではなく、先生方の共通理解のもと、かみ砕いて理解させてほしい。

また、3つの方針について。抽象的な表現の部分をもっと具体的にできないか。

・学園三訓、3つの方針について、いずれも保育現場でも欠かせない内容であると思う。

規律やマナーは、現場でも一方的に伝えても理解してもらえない難しいところである。

3つの方針に記載のある「表現力」について、保育の現場での表現力はピアノであったり絵を描くであったり本当にいろいろなところで必要になる。今の学生は自分を出すことを不得意としている。そのような部分をうまくフォローアップし、先生方のサポートによっていいところをのばしていったらあげれば、現場に出ても自信につながるのではないかと考える。

・インフルエンサーを講師として招いた授業は話題性があり良い取り組みである。授業の目的、学びの視点を持ち、事前指導、事後指導につなげられたことも良いと思う。

・保育現場においても、園紹介で SNS を使うことが多くなったため、ネットマナーも指導が必要である。

(2) 学校運営 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
運営方針	理念等に沿った運営方針を定めているか	4
事業計画	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
運営組織	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
	学校運営のための組織を整備しているか	4
人事・給与制度	人事・給与に関する制度を整備しているか	4
意思決定システム	意思決定システムを整備しているか	4
情報システム	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4

【現状の課題点】

特に課題はないが、組織的な運営が今後も求められる。

【学校関係者評価委員からの提言】

保育科専任教員にて全学生の現状把握をすること、全教員が全ての学生の状態が分かるようにコミュニケーションをとることが重要である。

専任教員以外でも、各科目担当の教員との接点を深く持ち、学生の能力開発に努める必要があることの提言がされた。

(3) 教育活動 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
目標の設定	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4
	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
教育方法・評価等	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
	教育課程について外部の意見を反映しているか	4
	キャリア教育を実施しているか	4
	授業評価を実施しているか	3
成績評価・単位認定等	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	NA
資格・免許の取得の指導体制	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
教員・教員組織	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
	教員の資質向上への取組みを行っているか	4
	教員の組織体制を整備しているか	4

【現状の課題点】

- ・保育士資格取得においては取得率が高いが、2025年度は1名のみ保育士資格の取得を求めなかった。専門学校での学び直しの機械を求める学生も少しずつ増えてきた。幼稚園免許状の取得率が前年度より向上したことは良い結果となった。

【学校関係者評価委員からの提言】

- ・多様性を理解した学校教育の視点より、教職員自身が学生一人ひとりの個性を理解し、

受け入れる必要がある。

前年に比べて退学者が多くなっているが、感覚過敏など配慮の必要な学生が増えていることもあり、大学などどのような学校も学生への学習機会を設けるため工夫をしている。退学防止、学習機会の確保のために本校でも工夫が必要。

- ・学生の多くは成功体験が少なく、失敗を恐れることもあるため、やる気を引き出すような言葉かけが重要である。

特色ある授業として、話題性のあるインフルエンサーを招いた取り組みなど、授業に工夫がみられる。

- ・資格取得においては、保護者の力も必要となる。保護者との連携も積極的に行う必要がある。
- ・授業評価の結果において、「実習が楽しい」「こどもがかわいい」という回答が多いことは非常に良い。学ぶ意欲につながるため、今後も満足度を上げる必要がある。
- ・授業の満足度が低い結果となっているものでも、担当教員と密に連携を取り、改善すべきである。

(4) 学 修 成 果 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
就職率	就職率の向上が図られているか	4
資格・免許の取得率	資格・免許取得率の向上が図られているか	3
卒業生の社会的評価	卒業生の社会的評価を把握しているか	3

【現状の課題点】

就職率はとても良いが、就業形態の希望も多様化してきている。社会人入学者は家庭と仕事の両立のため、ワークライフバランスを優先し、パートタイム雇用を希望するなど、学生の希望を尊重しながら就職指導をしている。

資格取得において難しさを感じる学生も居る。また、心の弱い学生に対してどのようにアプローチをしていくかが課題である。

【学校関係者評価委員からの提言】

- ・保育現場は若い力を必要としているので、「がんばれ、頑張れ」と励ますだけでなく、「必要とされている」ということをアピールしてはどうか。
- ・実習先において、学生が満足して実習を終えられるように学校と実習先の密な連携が必要である。

以前は学校側でしっかりと事前指導や実習先の業界の理解を求めていたが、実習はま

ずは楽しく学習できるよう、実習先も工夫をしてくれている。

- ・保育現場でも働き方が多様化しており、年齢に関係なく人物重視で採用活動を行っている。産休、育休制度もある法人が多くなった。
- ・保育業界は継続してこどもや保護者と関わっていくため、人間性が不可欠である。在学中に社会人としての教養、マナーを身につけたいところではあるが、家庭での支援も含めて現状の課題と問題点、改善策を本人に伝え、改善努力を促す必要がある。その上で、資格取得に至らない場合でも致し方ない部分はある。また、こどもたちとのイベントに対して、指導計画を立てること、遠足に一緒に行く、現地に合流するなど良い取り組みになるのではないか。
- ・インフルエンサーを招いた授業において、疑問を抱く学生がいたとの事だが、学生の「なぜ、どうして」という声こそ授業課題となる良い教材になるであろう。保育現場においても、保護者の考えも様々のため、学生時代から建設的な意見交換ができるスキルは必要である。

(5) 学生支援 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
就職等進路	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
中途退学への対応	退学率の低減が図られているか	2
学生相談	学生相談に関する体制を整備しているか	4
	留学生に対する相談体制を整備しているか	3
学生生活	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	NA
	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4
保護者との連携	保護者との連携体制を構築しているか	3
卒業生・社会人	卒業生への支援体制を整備しているか	3
	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	NA
	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3

【現状の課題点】

- ・学生のこころの相談を引き続き充実させる必要がある。
担任がきめ細かなサポートが必要である。

【学校関係者評価委員からの提言】

- ・ボランティアを経験できる機会を増やし、学生一人ひとりのやりがいを感じられるようにしてはどうか。
- ・各科目の授業アンケートを取り、講師の教え方の工夫、授業進行の改善などを振り返る必要がある。
- ・退学防止策として、受動的な授業ばかりでなく能動的に学べる工夫が必要である。学生が面白い、学びたいと思えるような授業展開の工夫が必要である。
- ・技術を身につけて就職率につなげるというのは専門学校が強み。教育理念において、技術だけでなく人間性を身に付けることが、専門学校で育成するというのは驚きであった。保育にしる、調理にしる、人間性は大事なのだろうと思っている。大学の教授が教員志望の学生を連れてきた際に、どんな先生がいいかきかれて、「教科指導ができるのは当然のこと、やはり大事なのは人柄」と答えた。配慮ができる、思いやることができること。今何が大事なのか判断する際にも、肝心なことを見落とさないように。配慮できること、それを身につけるのは難しい。いろんな経験を学生にさせるしかないかと考えている。

(6) 教育環境 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
施設・設備等	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
学外実習、インターンシップ等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
防災・安全管理	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4

【現状の課題点】

- ・ **Google Classroom** を活用し、学生一人ひとりと遠隔でもコミュニケーションが取れるようになっている。
- ・ コロナ禍でも実習先の協力により実習を終えることができた。

【学校関係者評価委員からの提言】

- ・ 実習の受け入れに際し、気になる学生やケアが必要な学生について学校との連携ができればより良い学びにつながるのではないかと思う。引き続き学校との連携を取りたい。

(7) 学生の募集と受入れ [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
学生募集活動	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	3
入学選考	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
学納金	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4

【現状の課題点】

- ・ 出願後の辞退を防ぐため、無料ピアノレッスンを実施した。
- ・ 専門学校と短期大学の違いを明確にすることが課題である。

【学校関係者評価委員からの提言】

- ・ 出願者へのアピールとして、保護者の方はお金の面を言われることが多い。学費の説明などをきっちりすることで学園としての印象の向上にもつながる。
- ・ 地域貢献や社会貢献でのプレスリリースについてももう少し積極的に行った方がよい。
- ・ 資格を取得することや技術を身に付けることであれば、短大より専門学校が良いと思っている。以前の経験では、保育士養成課程が短大から大学に統合吸収されて応募者は減

ってしまった。理想はいろいろあっても、学生は資格が取れるならシビアに2年でいいと考えている。

- ・高校1年生の段階から自分でいろいろ調べて体験して選ぶことが必要だと思う。短大か専門学校かではなく、将来自分が勤める姿を想像して考えるよう高校生に指導している。
- ・学校の名前を知ってもらうことが重要であり、学校を知っていることは信頼関係につながる。様々な取り組みで校名周知につなげることが重要である。

(8) (8) 財 務 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
予算・収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
監査	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

【現状の課題点】

- ・理事会・評議員会における監事監査において適正であるとされている。事業報告書、監査報告書などはホームページ上で公開している。

【学校関係者評価委員からの提言】

- ・特に問題点は見受けられない。健全な運営をしていると評価する。
- ・設備投資や今後の施設管理への積み立てとしては学園として進めていくことが大事である。また、社会情勢の悪化（価格高騰など）により、授業料を上げずとも運営をしていくことができるような運営を期待する。

(9) (9) 法令等の遵守 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
関係法令、設置基準等の遵守	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
個人情報保護	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
学校評価	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
	自己評価結果を公表しているか	4
	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
	学校関係者評価結果を公表しているか	4
教育情報の公開	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

【現状の課題点】

- ・今の状況では特に課題点は目立っていない。しかし情報管理、特に個人情報の取り扱いの一つ間違えると信頼の失墜につながる。現段階でも表に出していないだけで問題がないとは言い切れない。今後もセキュリティに関しては教職員だけでなく、学生も含めて組織全体で意識を高めていく。
- ・ハラスメント問題については、学内にハラスメント防止委員会を設置し、ハラスメント防止ガイドラインを設定している。専任の精神保健福祉士を置き、相談窓口を開設している。より広く学生に告知をし、課題点が上がりやすい環境整備が必要になる。

【学校関係者評価委員からの提言】

- ・特に課題点は見受けられない。引き続き健全な運営を期待する。
- ・SNSを含む情報の取り扱いに引き続き留意すべきである。

(10) 会 貢 献 ・ 地 域 貢 献 [大項目]

中 項 目	小 項 目	評価
社会貢献・地域貢献	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
	国際交流に取り組んでいるか	NA

ボランティア活動	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4
----------	---------------------------------	---

【現状の課題点】

・学園としては、医療従事者へのお菓子寄贈や、販売での売り上げの一部を寄付するなど地域貢献・社会貢献の取り組みを積極的に取り組んでいる。

【学校関係者評価委員からの提言】

- ・社会貢献は今後の企業・学校イメージに注目される一つ。広報活動にもなる。
- ・自分のためだけでなく、社会のための活動を数多く実施している事は素晴らしい。社会貢献は、回を重ねるごとに学生からの案が生まれてくる可能性が高い。そういった案を採用して頂きたい。
- ・保育の方のデータが少なく評価ができない。調理製菓の方は資料も多く、評価ができる。
- ・社会貢献は、注目され評価されるべき部分。卒業生とのつながりを持てるようなものであればよりよいものになるのではないか。
- ・課題としては研修と思う。FDはよいが、SDが弱いのではないか。職人肌の授業がこどもにうけない。より子供によりそう授業をしていこうという方向。調理製菓と保育に共通するところで、より実践的な授業の実践、例えば人間性の育成などの授業を入れてみてはどうか。皆さんが経験された中で一番大事なことはなにか。こども相手のほいく、人相手の調理。そういうものを取り入れて充実させていくべき。

これらの課題に対し委員から頂いた提言を真摯に受け止め、教職員一丸となり一つひとつ課題を解決し、業界を牽引する人材の輩出に取り組んでいく所存である。